

大雨、雷、突風（竜巻）への注意喚起について

宮若市教育委員会

近年の急激な天候変化に伴う自然災害については、全国各地でさまざまな被害報告がなされています。

そこで、以下の注意喚起を行いますので、ご家庭での指導に是非ご活用ください。交通事故等防止と併せて以下3点についても望ましい行動を、お子様と一緒にご確認ください。なお、気象庁ホームページには動画資料なども掲載されておりますので、是非ご視聴ください。

準備

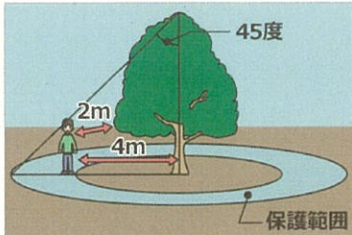
●天気予報、降水短時間予報、雷注意報、竜巻注意情報 等をチェック。

下の兆候があれば早めの避難行動を！

兆候

- 真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる。
- 雷鳴が聞こえたり、稲妻が見えたりする。
- ひやっとした冷たい風が吹き出す。

もしもの時の行動（「自分は大丈夫」と思わないで！）

	大雨	雷	突風（竜巻）
危険な行動	●浸水した道路の通行（見えない側溝、ふたの取れたマンホール）	●木の真下への避難（過去に被害例あり）	●車庫、物置、プレハブ等への避難
望ましい行動	○激しい雨の中を歩くのは危険なので、しばらく雨宿りする。 ○川や用水路の近く、低い土地からは、なるべく早く離れる。	○建物や屋根付きの乗り物（自動車など）に避難する。 ○木や電柱からは4m以上離れる。（下図参照） 	○頑丈な建物に避難し、窓ガラスから離れる。 ○一般住宅では、雨戸、窓、カーテンを閉め、窓のない部屋（1階）に移動する。 ○屋外にいて、周辺に身を守る建物がない場合は、水路などくぼんだところに身を伏せる。 ○両腕で首や頭を守る。

参考：気象庁HP